

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	動物飼育学科		8 単位	6 単位	
	動物看護師学科		270 時間	240 時間	
	総合ペット学科		180 時間	160 時間	
	総合ペット学科		10 単位	9 単位	
(備考) 総合ペット学科は2年制と3年制を擁している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>学校で公開しているホームページ上掲載の職業実践専門課程「別紙様式4」での公開の他、シラバス上で実務経験のある教員について明記し、学生便覧を通じて学生への告知をする。</p> <p>公開ページ：https://www.heco.ac.jp/disclose-information/</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上で公開する。
<https://www.heco.ac.jp/disclose-information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2021. 6. 1～ 2024. 5. 31	地元(江戸川区)の名士 として学校と地域の連 携を図る。
非常勤	株式会社役員	2021. 6. 1～ 2024. 5. 31	地元(北海道)の名士と して学校と地域の連携 を図る。
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。</p> <p>それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。</p> <p>完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。</p> <p>学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。</p> <p>初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.heco.ac.jp/disclose-information/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>評価は定期試験、授業参加度、出席点の3つによって決定する。</p> <p>各項目の配点率は各科目の特性を鑑みて担当教員が考えるため科目毎で異なる。</p> <p>定期試験は記述式やプレゼンテーション、制作など科目特性に応じた形で実施。</p> <p>科目毎の到達度を確認する。</p> <p>授業参加度は事前事後課題、発言、発表などの評価を行う。</p> <p>成績評価の概要は、学生便覧に記載し入学時のオリエンテーションで学生に説明する。</p> <p>各科目の細かい評価方法に関しては最初の授業の際に担当教員よりシラバスを用いて説明を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAを用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90点をA=4.0 89-80点をB=3.0 79-70点をC=2.0 69-60点をD=1.0 59点以下をF=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割りGPAを算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。 異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。 学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPAの算出方法</p> <p>GPAを算出する計算式は以下のとおりです。(GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとします。)</p> <p>【GPAを算出する計算式】</p> $\text{GPA} = \frac{\text{(該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得たGP)の合計} \cdots \cdots \text{①}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \text{②}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/heco_gpa_2019.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年2月に単位認定会議を実施。 単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/heco_gc_2019.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/info_01.pdf?v4
収支計算書又は損益計算書	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/info_01.pdf?v4
財産目録	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/info_01.pdf?v4
事業報告書	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/adm20220628_01.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.heco.ac.jp/resources/pdf/info_02.pdf?v4

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	動物飼育学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	122/単位	57/単位	3/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			182/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		122 人	1 人	2 人	14 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>GPAを用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90点をA=4.0 89-80点をB=3.0 79-70点をC=2.0</p> <p>69-60点をD=1.0 59点以下をF=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割りGPAを算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPAの算出方法</p> <p>GPAを算出する計算式は以下のとおりです。（GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入す</p>

<p>るものとします。)</p> <p>【GPA を算出する計算式】</p> $\text{GPA} = \frac{\text{(該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得た GP) の合計} \cdots \cdots \text{①}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \text{②}}$
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。 その方針を元に、毎年2月に単位認定会議を実施。 単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。 卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。 卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。 支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
71人 (100%)	0人 (0%)	53人 (74.6%)	18人 (25.4%)
(主な就職、業界等) 動物園、観光牧場、畜産、環境教育施設、ペットショップ 等			
(就職指導内容) 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士 等			
(備考) (任意記載事項) 令和3年度より開講 令和4年度で学科完成。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	4人	6.5%
(中途退学の主な理由) 精神的疾患、単位取得できず目的意識喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	動物看護師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2400 単位時間	855 単位 時間	630 単位 時間	1,035 単 位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2520 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		60 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>GPAを用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90点をA=4.0 89-80点をB=3.0 79-70点をC=2.0 69-60点をD=1.0 59点以下をF=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割りGPAを算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPAの算出方法</p> <p>GPAを算出する計算式は以下のとおりです。（GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPAを算出する計算式】</p> $GPA = \frac{\text{（該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得たGP）の合計} \cdots \cdots \text{①}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \text{②}}$	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年2月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 動物病院等			
（就職指導内容） 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師 等			
（備考）（任意記載事項） ※令和3年度開校 令和5年度学科完成			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	総合ペット学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1600 単位時間	435 単位時間	2520 単位時間	45 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3000 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		30 人	0 人	2 人	13 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>GPAを用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90点をA=4.0 89-80点をB=3.0 79-70点をC=2.0 69-60点をD=1.0 59点以下をF=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割りGPAを算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPAの算出方法</p> <p>GPAを算出する計算式は以下のとおりです。（GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPAを算出する計算式】</p> $GPA = \frac{\text{（該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得たGP）の合計} \cdots \cdots \text{①}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \text{②}}$	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年2月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	0人 (0%)	24人 (85.7%)	4人 (14.3%)
（主な就職、業界等） ペットショップ、ペットサロン、訓練所、空港検疫所等			
（就職指導内容） 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士 等			
（備考）（任意記載事項） 令和3年度より開講 令和4年度で学科完成。就職実績は名称変更前の「動物看護・ペット学科」			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	1人	3.4%
（中途退学の主な理由） 精神的疾患のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		専門課程	総合ペット学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	93 単位	27/単位	156/単位	4/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			187/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		27 人	0 人	2 人	13 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>毎年、自己点検自己評価を行い、その内容を元に学校関係者評価委員において各方面の有識者から意見を頂いている。</p> <p>また、教育課程編成委員においては、学科毎に専任教員と業界関係者が討議を行っている。</p> <p>その学校関係者評価委員、教育課程編成委員の内容を、授業計画等に反映をしている。それぞれの授業科目の作成においては、学校の3つのポリシー、成績評価の学校としての考え方などを各授業科目担当教員と共有し、ガイドラインを設けた上で担当教員にシラバス作成を依頼。完成したシラバスを学科専任教員が確認し適宜修正を実施。学生への公表に関しては入学当初のオリエンテーションの際に全体のシラバスを配布。初回の授業の際に担当教員から学生に対して説明を実施している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>GPAを用いて成績分布の把握を行う。</p> <p>100-90点をA=4.0 89-80点をB=3.0 79-70点をC=2.0 69-60点をD=1.0 59点以下をF=0</p> <p>とし、それぞれの単位数をかけ、総単位数で割りGPAを算出する。</p> <p>学期末に個人成績、成績分布を算出し、学生に配布し確認。</p> <p>異論があれば学科専任教員に申し出てもらう。</p> <p>学生確認を行った上で、保護者に郵送で送付を行う。</p> <p>GPAの算出方法</p> <p>GPAを算出する計算式は以下のとおりです。（GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとします。）</p> <p>【GPAを算出する計算式】</p> $GPA = \frac{\text{（該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得たGP）の合計} \cdots \cdots \text{①}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \text{②}}$	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業認定の方針は、教員会議の中で審議し、適宜見直しを行っている。</p> <p>その方針を元に、毎年2月に単位認定会議を実施。</p> <p>単位認定会議において学校長が卒業認定を行う。</p> <p>卒業延期者においては、卒業に必要な不足単位を取得するための補習・試験を実施し、再度認定会議を開催し卒業の認定を行う。</p> <p>卒業認定の方針は、学生便覧に記載し、入学当初のオリエンテーションで学生に公表を行う。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>学生の出席状況など平時の学修状況を都度確認。また定期的な個別面談にて状況の確認および理解を促す。</p> <p>支援が必要な場合は関係教員、職員が対策を協議し、支援プログラムを実行。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） ペットショップ、ペットサロン、訓練所、空港検疫所等			
（就職指導内容） 業界説明、一般教養、履歴書等書き方、面接練習 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士 等			
（備考）（任意記載事項） 令和4年度より開講 令和6年度で学科完成。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談の実施、スクールカウンセラーの活用 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
動物飼育学科	100,000 円	600,000 円	855,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 270,000 円 教科書教材代 315,000 円
動物看護師学科	100,000 円	600,000 円	810,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 260,000 円 教科書教材代 280,000 円
総合ペット学科	100,000 円	600,000 円	810,000 円	※実習費 200,000 円、施設整備維持費 70,000 円、総合演習費 260,000 円 教科書教材代 280,000 円
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heco.ac.jp/disclose-information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
北海道エコ・動物自然専門学校での教育・運営活動等の状況について、自ら行う点検及び評価の項目並びにその実施体制等について検証し、問題点の把握、目標の明確化を行い、必要な支援・改善を行うことにより教育水準の向上と質の保証を図ることを目指している。また、多くの外部評価を受けることにより、学校評価の精度を高め、客観性を持った評価による改善を目指したい。特に卒業生、保護者、地域住民、企業等との相互理解と連携を確立し、学校の説明責任を果たしていくよう努めることにより、信頼される学校を目指したい。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
道内ホームセンターペット事業部	2022年4月～2024年3月	卒業生代表
在校生保護者	2022年4月～2024年3月	保護者代表
北海道恵庭北高等学校 進路部長	2022年4月～2024年3月	高等学校関係者
市内ドッグサロン経営	2022年4月～2024年3月	地域関係者
株式会社ペットハウステン・テン代表	2022年4月～2024年3月	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.heco.ac.jp/disclose-information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.heco.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	北海道エコ・動物自然専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		41人	41人	41人
内 訳	第Ⅰ区分	21人	27人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				-人
合計（年間）				42人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	一人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。